



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成31年3月1日 第101号
発行者：校長 菅野 定行

卒業式 校長式辞



日差しの明るさが日ごとに増し、春の訪れを感じられる今日の佳き日、東松島市長渥美巖様、本校PTA会長 沼田利恵様をはじめとする多数の皆さまのご臨席を賜り、第32回の卒業証書授与式を挙行できますことを、卒業生はもとより、在校生及び職員一同、心より感謝申し上げます。

ただいま、3年間の学業の証として卒業証書を手にした皆さん、卒業おめでとう。諸君は入学以来、本校の教育活動に積極的かつ主体的に取り組み、3年間の教育課程を無事修了しました。この石巻西高校の最高学年として、その名に恥じない成果を上げ、自らの責務を見事に全うしたと思います。

また、ご出席くださいました保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございませう。10代後半という多感な時期、お子様にとってかけがえのない3年間を温かく見守り、励まし続けられたことに敬意を表します。そして、今まで3年間にわたり、本校の教育活動に深いご理解と心強いご支援を賜りましたこと、謹んで御礼申し上げます。

さて、卒業生諸君の門出にあたり一言述べたいと思います。

日本政府の「人生100年時代構想会議」の報告によれば「2007年に日本で生まれた子どもが107歳まで生きる確率は50%」と予想されています。100歳まで生きるとなると、学校を卒業して就職し、定年を迎えて退職して

余生を送る、という今までの人生モデルは成り立たなくなるでしょう。その代わり、学校を卒業してすぐに就職するとは限らない生き方、仕事に就いた後も学び続ける生き方、収入を得る仕事と他のさまざまな活動とを組み合わせる生き方、などのさまざまなライフスタイルが生まれそうです。そして、これは以前の集会でも話しましたが、Society5.0社会もやってきます。これは、今までの狩猟社会、農耕社会、工業社会、そして現在の情報社会に続く、第5の新たな社会を指すものでした。すべての人とモノがつながり、さまざまな知識や情報が共有され、今までにない新たな価値が生み出される社会。そして、人工知能により必要な情報が必要な時に提供され、革新的な技術でさまざまな課題が克服される社会がやってきます。技術革新が希望の持てる社会を創り、一人一人が活躍できる社会が来ると言われます。

このように、皆さんが社会に飛び出そうとする今、我々が経験したことのない新しい時代がやってくるわけです。皆さんは学校で教わった知識や技能だけでは対応できない、そして従来のやり方をまねるだけでは乗り越えられない社会で、これからの約80年間を過ごさなければなりません。

「出る杭は打たれる」ということばがあります。「才能や手腕があって抜きん出ている人は、人から憎まれ疎まれることが多い」という意味です。自己主張を控え、周囲に合わせることを美德とする日本ならではの言葉です。他にも「思いやり」「自己犠牲」など、日本には他者を気遣う言葉がたくさんあります。おかげで規律正しく幸福な社会が築かれているわけですから、これが日本人の長所であることは疑いありません。しかし、これから「人生100年時代」や「Society5.0社会」に立ち向かう皆さんは、周りに合わせるだけでは困ります。むしろ、積極的に「出る杭」になろうとする姿勢も必要です。多少打たれてもへこたれない強さ、失敗を繰り返しながらも壁を乗り越えようとする気概、こういった気持ちを持ち続けてほしい。

もちろん、強い自己主張がすべてではありませんし、周囲を押しつけて出しゃばることが良

いわけでもないでしょう。他者と協調し、周囲と合意形成を行いながら課題解決にあたる力も必要です。ただ、幸いなことに西高生諸君にはこれらの能力は比較的備わっていると私は見えています。逆に、慎み深く周囲を立てるあまりに「出る杭」になりきれない点が残念です。

本校の校訓の一つに「進取」があります。進取とは「従来の習わしにとらわれることなく、積極的に新しい物事へ取り組んでいく」という意味です。校歌にも「ここは さこそ 進取の気鋭」の歌詞があります。皆さんはこの校歌を幾度となく歌いながら、主体的な生き方、自分で判断する力を身につけてきました。卒業後の皆さんが、「進取」の二文字を胸に抱きながら、将来大きな「出る杭」へと成長してくれることを切に願います。

さあ、卒業生の皆さん、これからの未来は君たち自身が創ります。自分の夢に誇りを持ち、充実した日々を送ってほしいと思います。我々西高職員はこれからも君たちを応援し続けます。皆さんのこれからの人生に光りあらんことを祈念し、式辞といたします。

平成31年3月1日

宮城県石巻西高等学校長 菅野定行



〈卒業式の朝 三学年職員〉



〈1組 朝のSHR〉



〈2組 朝のSHR〉



〈3組 朝のSHR〉



〈4組 朝のSHR〉



〈5組 朝のSHR〉